

■主なクラミジア・トラコマティス(以下、C.トラコマティス)感染症の診断法とご依頼方法 (平成23年10月現在)

(1) C.トラコマティス DNA(PCR法) <外注検査>

基準値	陰性	所要日数	3～5日	容器
検査材料・検体量	男性 初尿5ml 子宮頸管分泌物 その他 咽頭ぬぐい液(男、女)	女性 F1(女性用)		
判断料	150点(微生物学的検査判断料)			
実施料	210点			
掲載依頼書	依頼書 II			
レセプト名	C.トラコマティス核酸同定検査			
採取法の詳細	『総合検査案内10』の72～73ページをご参照ください。			

(2) 淋菌及びC.トラコマティス r-RNA同時同定(TMA法) <外注検査>

基準値	陰性	所要日数	3～5日	容器
検査材料・検体量	男性 初尿5ml または、尿道分泌物 女性 子宮頸管分泌物 その他 咽頭ぬぐい液(男、女)	男性 F2(原用)		
判断料	150点(微生物学的検査判断料)			
実施料	300点			
掲載依頼書	依頼書 II			
レセプト名	淋菌及びC.トラコマティス同時核酸増幅同定検査			
採取法の詳細	『総合検査案内10』の72～73ページをご参照ください。			

(3) C.トラコマティス抗原(EIA法) <所内検査>

基準値	陰性	所要日数	1日	容器
検査材料・検体量	男性 初尿10ml または、尿道分泌物 女性 子宮頸管分泌物 その他 咽頭ぬぐい液(男、女) ※参考値	男性 W2(男性用)		
判断料	144点(免疫学的検査判断料)			
実施料	170点			
掲載依頼書	依頼書 I			
レセプト名	C.トラコマティス抗原			
採取法の詳細	『総合検査案内10』の72～73ページをご参照ください。			

(4) C.トラコマティス抗体 IgA/IgG(ELISA法) <所内検査>

基準値	0.9未満	陰性	所要日数	2～3日	容器
検査材料・検体量	血液3.0ml				X(生化学採血管)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)				
実施料	220点				
掲載依頼書	依頼書 I				
レセプト名	グロブリンクラス別C.トラコマティス抗体価				
結果解釈等	『総合検査案内10』の72～73ページをご参照ください。				

◆レセプト請求上の留意点◆ (平成23年10月現在)

抗原系検査(1)(2)(3)に関して

* (1)(2)(3)を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

抗体系検査(4)に関して

* 結膜、鼻腔検体を用いて

* C.トラコマティス抗原検出の時期を逸した疾患や、検体採取困難な疾患(骨盤内感染症(PID)等)の診断に際し測定した場合に算定する。

* C.トラコマティス抗体価検査は他にIgMもあるが、IgMは新生児、乳幼児肺炎の診断に際し測定した場合に算定する。

* (4)の抗体価検査は主にIgA、IgG、IgM抗体価のうち2項目以上を同時に測定した場合に主たるもののみ算定する。

IgA、IgG、IgM抗体価のうち2項目以上を同時に測定した場合は主たるもののみ算定する。

◆レセプト請求上の留意点◆ (平成23年10月現在)

抗原系検査(1)(2)(3)に関して

* (1)(2)(3)を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。

抗体系検査(4)に関して

* 結膜、鼻腔検体を用いて

* C.トラコマティス抗原検出の時期を逸した疾患や、検体採取困難な疾患(骨盤内感染症(PID)等)の診断に際し測定した場合に算定する。

* C.トラコマティス抗体価検査は他にIgMもあるが、IgMは新生児、乳幼児肺炎の診断に際し測定した場合に算定する。

* (4)の抗体価検査は主にIgA、IgG、IgM抗体価のうち2項目以上を同時に測定した場合は主たるもののみ算定する。

IgA、IgG、IgM抗体価のうち2項目以上を同時に測定した場合は主たるもののみ算定する。

『医科診療報酬点数表 平成22年4月版 (社会保険研究所発行)』より